



# KYOUSEI DAYORI

-きょうせいだより-

第26号

令和5年8月

矯正を知ろう！再犯防止をもっと身近に！

## CONTENTS

- ・佐賀少年刑務所 居住支援意見交換会開催！
- ・再犯防止×地方創生政策 ワークショップ型研修実施！
- ・協力雇用主
- ・検証！女性犯罪・非行を知る

### きょうせいだよりってなに？



本誌は、地方公共団体や民間団体の皆さまに、法務省の再犯防止の取組や矯正施設のことなどを知ってもらいたいという思いを込めて配信するお便りです。日々の業務の合間に手に取ってご覧いただき、私たち矯正のことを少しでも身近な存在として感じていただけますと幸いです。

## 佐賀少年刑務所「居住支援」意見交換会開催！



令和5年7月20日（木）、佐賀少年刑務所において「居住支援」意見交換会を行いました。出所者等の**住居の確保**については、再犯防止推進計画においても、再犯防止を推進する上で最も重要な要素の一つとされています。当日は、住居の確保に困難を抱える者を支援する**佐賀県内の居住支援法人**を始め、関係行政機関の方々もお呼びし、施設見学、講演、意見交換を行いました。御意見の中には、入居者が逮捕等されることにより大家さんに掛かる負担などについて経験談を話してくださった方もおり、**受け入れる側の苦勞**もひしひしと感じました。御参加いただいた皆様誠にありがとうございました。

## 再犯防止×地方創生政策ワークショップ型研修実施！

令和5年7月31日（月）から同年8月1日（火）までの2日間で、管内矯正施設職員を対象とした「**再犯防止×地方創生政策ワークショップ型研修**」を行いました。再犯防止にも地方創生にも資する取組を、福岡県及び福岡市の職員並びにジャパンマック福岡の講師の方々と共に話し合いました。出所者等の再犯防止に御理解と御支援をいただくためのお願いをするだけでなく、**矯正施設が地域に貢献できる取組**を行っていきたいと思います。



## interview

上田勝彰さん  
フィールドアップITN.株式会社  
代表取締役

協力雇用主

### 協力雇用主とは

犯罪や非行をした人（刑務所出所者等）の自立及び社会復帰に協力することを目的として、**犯罪や非行をした人を雇用し、又は雇用しようとする事業主の方々**です。犯罪や非行をした人は、**再び地域に帰ってきます**が、これらの人が再犯や再非行に至らないためには、仕事に就き、職場に定着し、責任ある社会生活を送ることが重要です（所管は法務省保護局）。

### 協力雇用主の現状

令和3年時点で、全国の協力雇用主の登録数は**約二万四千社**あります（実際に出所者等を雇用している事業主は約千四百社）。事業別に見ると、**建設業が半分以上**を占めます。円滑な社会復帰・職場定着のためには、出所者等と事業主の方々との適切なマッチングが重要ですので、幅広い業種の事業主の方々に登録いただくことが期待されています。

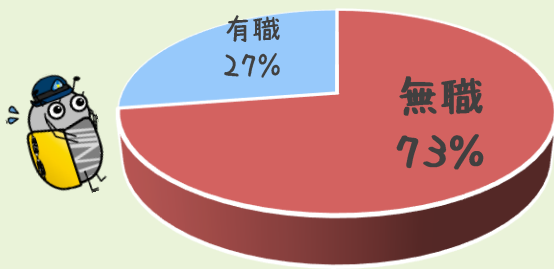
### 職員さんの声

協力雇用主についてより詳しく知るべく、飲食、通販、システム、あぐり・お庭、フリースクール、レジャー・農福連携事業と幅広く事業を展開している**フィールドアップ株式会社**の代表取締役上田勝彰さんにお話を伺いました。

**岡部**・協力雇用主として出所者等を支援するようになったきっかけは何ですか？

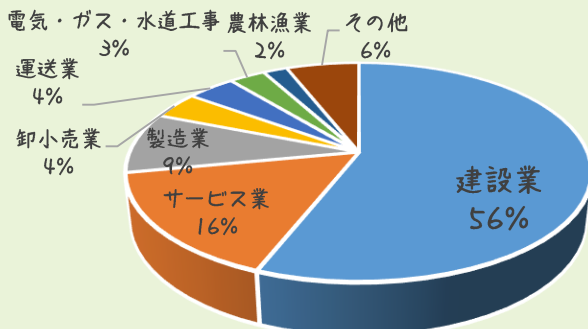
**上田**・私自身が元々不良をしていた時期があったというのが大きいですね。特に目的意識もなく不良をしている者はそのうち暴力団の構成員となり、悪いことをしている感覚もなくなり、気づけば30代、40代となっていく。そのうち自分が見出し者であることに気付くが、**やり直したいと思ってもやり直せない**。そんな姿を多く見てきました。私自身も中卒で、昔は金融業をしていましたが、金融業しかできない自分が嫌で新しいことに挑戦し、今に至ります。

### 令和3年入所受刑者の就労状況別構成比



（出典：令和4年版犯罪白書）

### 協力雇用主の事業別割合



（出典：令和3年10月1日現在、法務省保護局資料）



# 「結局、大事なものは愛です。」



人生をやり直したいという人を応援したいという気持ちがあるが、協力雇用主をしている原動力です。

**福原**.. 出所者や少年院出院者と接するに当たって意識していることはありますか？

**上田**.. 本人のこれまでの生き方に耳を傾けることですね。

こちらが一方的に常識を押し付ける前に、まずは本人がこれまで歩んできた人生、それに伴い作られてきた価値観をしっかりと聞いた上で指導や支援をしていく。これが大事だと思っけています。正面から向き合おうと彼ら彼女らも喜びますし、信頼関係の構築につながっていきます。

**岡部**.. 出所者の方々の働きぶりはいかがでしょうか。

**上田**.. これまでの経験上、もっても2年といったところですが。精一杯面倒を見ても、ほとんどの人がそのうち来なくなってしまうのが現実です。出所者支援なんてもう辞めようかなと思っけたことは何度でもあります。けれども、私も出所者もその他の人もみんな**正しい方向に向かいたい**とい



伊勢味噌ラーメン×課長

伊勢味噌ラーメン



信州味噌ネギラーメン



麵場 彰膳

う思いが根本にあるので、続けることができています。結局、大事なものは「愛」です。愛があるからできる。愛がないなら出所者の支援なんてやらない方がいいと思っけています。

**福原**.. 協力雇用主に興味のある事業者さんから相談を受けることはありますか。

**上田**.. 相談を受けることはありますよ。ただ、**人が足りないからと**り**あえず出所者**を雇うといった理由で協力雇用主を考えている人には、協力雇用主を引き受けることはやめるように言っけています。

**岡部**.. 雇用するに当たっては、合否はどういった点で判断していますか。

**上田**.. 「やり直したいという強い気持ちを持つている。」「挑戦心がある。」「**道徳心**がある。」「この3つで判断します。特に**道徳心**は大切です。悪いことを散々してきたけれども、根は腐っけていないことが大切です。逆に言えばこの道徳心がなければスイーツの入れようがなく、教えようもないと思っけています。そ



きのこハウス



フリースクール

して、この道徳心というのは幼少期からの教育がとても重要で、佐賀の三瀬にフリースクールを開設し、道徳教育に力を入れていきます。「今だけ、金だけ、自分だけ」にならない「**和を以て貴し**。」の精神を持った人を育てていきたいと思っけています。

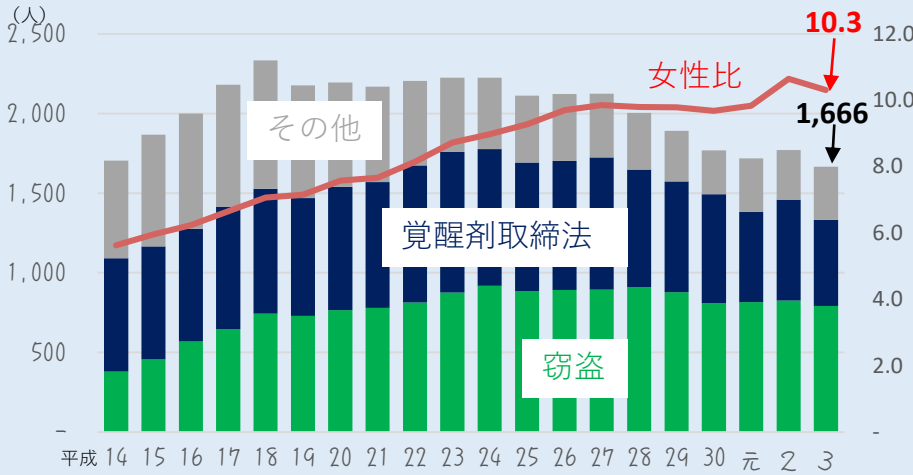
**福原**・**岡部**.. 本日は貴重なお話をありがとうございました。

# 検証!女性犯罪・非行を知る



(出典：令和4年版犯罪白書)

## 女性入所受刑者の人員・女性比の推移

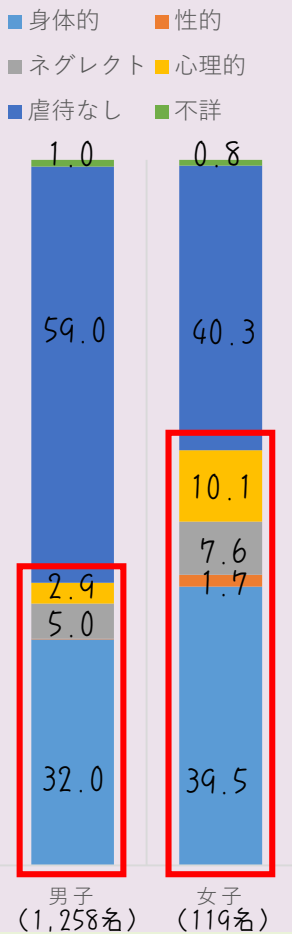


## 日本の女性刑事施設

(医療刑務所及び拘留所を除く)



## 少年院入院者の被虐待経験別構成比



我が国で女性受刑者の収容施設として指定されている刑事施設（医療刑務所及び拘留所を除く。）は、**栃木、笠松、和歌山、岩国、麓**の各刑務所と**札幌、福島、豊橋、西条**の各刑務支所、加古川、美祢社会復帰促進センター（我が国初の官民協働刑務所。運営の一部を民間に委託している。）の各女性収容棟です。女性刑事施設においては、「**女子施設地域連携事業**」が推進されており、地方公共団体や看護協会、助産師会などの協力を得ながら、母親教育指導や妊婦に対する相談助言をはじめ、**女性受刑者特有の問題に着目した処遇の充実**が図られています。なお、**女子の少年院入院者は、女子のみを収容する少年院（全国に9庁）又は男女を分隔収容できる少年院（全国に2庁。身体や精神に疾患又は障害を有する者を収容する少年院）**のいずれかに収容されます。また、少年

## 女性矯正施設

院入院者の被虐待経験別構成比では、**男子よりも女子の方が被虐待経験の割合が高くなっており、約6割に被虐待経験があります（自己申告に基づく。）**。

### 女性受刑者の罪名

女性受刑者の罪名の内訳は、窃盗が増加しており、平成24年以降は、覚醒剤取締法違反を上回っています。そして、**窃盗及び覚醒剤取締法違反のみで全体の約8割を占めています**。高齢入所受刑者（入所時年齢65歳以上）に絞れば、女性受刑者の**実に約9割が窃盗**です。

また、女性比（全受刑者のうちの女性の比率）は増加傾向が続き、**受刑者全体の約1割が女性**となっています。女性受刑者の存在は、受刑者全体で見ると、ごく一部ではありますが、**再犯防止推進**において着目すべき対象であることは間違いありません。

質問やご意見、取り上げてほしい事項などありましたら、当課までお気軽にご連絡ください。

## お問合せ先

福岡矯正管区 更生支援企画課 福岡市東区若宮5丁目3番53号  
TEL:092-661-1143 (直通) FAX:092-663-1001  
MAIL:1.fukuokakyousei.9jf@i.moj.go.jp





# 沖縄 少年院



所在地：沖縄県糸満市



糸満市

あなたの街の  
矯正  
施設  
Vol.7

## POINT

### 沖縄県唯一の少年院

沖縄少年院は、群青色の海と水平線が見渡せる沖縄県糸満市の高台にあります。琉球政府により1960年に琉球少年院として設立されました。1972年の本土復帰に伴い、沖縄少年院として発足し、沖縄県の本土復帰50周年は、当院の創設50周年の年でもありました。輝く太陽の下、「てだこ（太陽の子）を育て教育」をスローガンに、明るく覇気があり、熱い心を持つたくましい在院者の育成を目指し、職員が在院者と共に汗を流しながら在院者の更生と社会復帰に向けて日々励んでいます。



### 地域性を活かした指導

沖縄少年院の短期課程ではボイスカウト活動を行っています。親子スカウティングの取組では、保護者と共にカレーを作るなどのふれ合いを通じて互いの理解・関心を高め、親子関係の再構築を図っていきます。長期課程では県立図書館での図書整理等の社会貢献活動や平和祈念公園の協力を得て平和教育を行っています。アグリコースでは高温多湿でも育つ「空心菜」などの野菜を育て、クラフトコースではやちむん（陶器）を製作しています。沖縄県在住の在院者が多いため、エイサー、三線指導など、沖縄の伝統文化に触れる機会もあります。

## VOICE

### 現場職員の声 — 支援主任 —

就労していない者の再犯率が高いことから、少年院では就労支援を行い、就労につなげていく。



しかし、採用につなげるだけでは駄目で、せっかく採用に至ったとしても就労が継続しなければ、生活が乱れて再犯につながる可能性がある。

そこで、在院者の指導に当たる寮の職員にその趣旨を伝え、続けられる仕事をじっくりと探しつつ、仕事を続けられる力を付けるような指導を実施している。

少年院に入ってくる者の中には、「人と関わるのが苦手」だったり、「伝えることが苦手」だったり、仕事をやる上で失敗しやすいような特性を持つ者も多い。そういう者たちがうまくやっていくためには、支援的な関わりが大切だ。

当方から採用に至ったケースにおいても、そのような特性を持つ者がいた。ありがたいことに、彼らを採用してくださった雇用主の皆さんは、「雇用主と従業員という関わりにとどまらず、「更生や再非行防止にも積極的に協力したい。」という気持ちの方がほとんどで、採用決定後は、在院中からリモート面接や手紙のやりとりで、支援的に関わっていた。それ以上、再犯防止につながる支援だと感じている。